

霊の実「愛」

2009/7/12

シリーズ・霊の結ぶ実 #2

ガラテヤ書5章16～26節

16 わたしが言いたいのは、こういうことです。霊の導きに従って歩みなさい。そうすれば、決して肉の欲望を満足させるようなことはありません。

17 肉の望むところは、霊に反し、霊の望むところは、肉に反するからです。肉と霊とが対立し合っているので、あなたがたは、自分のしたいと思うことができないのです。

ガラテヤ書5章16～26節

18 しかし、霊に導かれているなら、あなたがたは、律法の下にはいません。

19 肉の業は明らかです。それは、姦淫、わいせつ、好色、偶像礼拝、魔術、敵意、争い、そねみ、怒り、利己心、不和、仲間争い、ねたみ、泥酔、酒宴、その他このたぐいのものです。以前言っておいたように、ここでも前もって言いますが、このようなことを行ふ者は、神の国を受け継ぐことはできません。

ガラテヤ書5章16～26節

22 これに対して、霊の結ぶ実は愛であり、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、柔和、節制です。これらを禁じる掟はありません。

24 キリスト・イエスのものとなった人たちは、肉を欲情や欲望もろとも十字架につけてしまったのです。わたしたちは、霊の導きに従って生きているなら、霊の導きに従ってまた前進しましょう。うぬぼれて、互いに挑み合ったり、ねたみ合ったりするのはやめましょう。

ガラテヤ書5章22～23節

これに対して、霊の結ぶ実は
愛であり、喜び、平和、寛容、
親切、善意、誠実、柔和、節制
です。これらを禁じる掟はあり
ません。

肉(罪)との戦い

- 肉は不幸をもたらす
 - －人を傷つけ、混乱させ、醜くする
- 肉と霊とは常に対立している
 - －私たちの生まれつきの自分は正しくない
- 社会や家族によって肉は教育される
 - －しかし完全ではない

霊に導かれるとは

■ 祈りと心の声

- － 霊の導きを祈り、その語りかけに耳を傾ける

■ 聖書の御言葉

- － 神が何を願っておられるのか知ろうとする
- － 聖書は人生のカーナビ

■ 人の言葉

- － 家族や友人の言葉を用いられることがある

霊の結ぶ実の特徴

- 欲しいと願ってもらえる物ではない！
- 霊の実が生きた信仰者の内に結ぶ。
 - － あなた自身の中に結ぶもの
- 結んだ実はいつまでも残る
 - － 実は無意識のうちに現れる
- 霊の実は人に幸せを与え、神に栄光をもたらす

霊の実「愛」を結ぶために

- 愛について聖書から学ぶ<ルカ10章>
 - －「行って、あなたも同じようにしなさい。」
- 行く
 - － 積極的な姿勢（待っていてはダメ！）
- 同じように
 - － 関心・犠牲・親切（キリストを真似ること！）
- しなさい
 - － 愛は行動（思い出はない！）

「愛」について

- 愛されなければ愛せないのか
 - － 正しく愛されていなければ正しく愛することは難しい。だから学ぶ
- 好きになることと愛することは違う
 - － 嫌いでも愛することはできる
- 愛のレベル
 - － ①好ましい人②知らない人③好ましくない人

言い訳のみ(実)

- 忙しい(時間がない)
- 余裕がない
- 思っているけれど
- かえって迷惑かも
- 関係ない
- 自分じゃなくても
- 分からない
- 今度やる
- 元気がない